

(4) 看板類の見直し、追加について

突哨山の方針も少しずつ固まり、遊歩道の新規開設や名称の統一などが行われています。そこで以前から懸案だった案内板の手直し、景観にそぐわない禁止看板の見直し、ガイドマップに準じた番号表示柱の設置が必要となってきました。また看板類を統一された色合いやデザインにするのはどうでしょうか。

■現在の看板類

突哨山口



カタクリ広場



■修正する必要がある看板類（案）

○禁止看板（2ヶ所）



2009年6月の第一回協議会で、「白地に黒文字で景観を損ねている」「禁止の文言が強すぎ、雰囲気にとぐわらない」などの指摘がありました。撤去の上、やわらかい表現のものに変更する方向になっています。表示の内容、看板の大きさやデザイン、文言などについて、ご検討をお願いします。

変更案1：「突哨山はみんなで大切にしている森です
植物・昆虫の採集はご遠慮ください。

研究・教育目的での採集は下記にご連絡ください●旭川市公園みどり課 0166-25-9705」

変更案2：「突哨山は市民が開発から守り、公有緑地となった森です。植物、昆虫などの採集はしないでください。連絡先：旭川市公園みどり課 0166-25-9705

○案内地図（2ヶ所）



新たに扇の沢ルートが加わり、ルート名、分岐名も決まりました。案内地図にもそれらの記載が必要となってきました。

デザインはガイドマップとも共通で、いい感じですが、どこかの時点で手直しが必要です。

案内板（5ヶ所）



案内図と同様に、扇の沢ルートなどの追加が必要です。それと出入り口の名前が『散策路A』『散策路B』となっていますので、『突哨山口』『カタクリ広場口』に修正する必要があります（扇の沢分岐は張り紙で修正しています）

○入山記載台（2ヶ所）



ガイドマップが中にあることが分からず、散策者が素通りしてしまう例が目立ちます。「入山記載台」から「情報ボックス～ガイドマップあります～」と表示を変えて、わかりやすく、また利用を増やすのはどうでしょうか。

■番号表示柱について

ガイドマップの地図には1～15番の数字があり、それぞれ写真や説明が記載されています。ガイドマップに沿った場所に素朴な番号表示柱板を設置し、現地とガイドマップをリンクさせ、訪れる方によりわかりやすくしたいと思います。

素材は間伐したトドマツなどで、丸太を斜め切りし、数字をペンキで書きます。埋める際には30cmほど掘り込みます。

遊歩道の脇などにさりげなく設置する予定ですが、ササや草本に高さがあるので、表示板の高さはひざから腰の高さくらいを想定しています。

